

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	免震構造小委員会	主 査 名：近藤明洋 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (振動運営委員会)	委員長名：五十田博 (主 査 名：菊地 優)
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>免震構造に関連した適用技術や研究内容について時間的変遷を踏まえた検証を実施。技術開発、研究の方向性を見出し、今後の免震構造の健全な普及に資する情報を社会に提示。</p> <p>初年度：最新の技術情報の収集および開発技術の検証内容の抽出。2022 年度大会振動 PD 情報提供準備。</p> <p>2 年度：免震技術に関して今後の方向性の議論実施。大会 PD での講演内容について具体的な検討、PD 開催対応。</p> <p>3 年度：免震技術に関する今後の方向性の検討実施。</p> <p>4 年度：免震技術に関する評価内容及び今後の開発、研究の方針についてのまとめ実施。次版『免震構造設計指針』の執筆内容、執筆者の確定、調整。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：近藤明洋 (鹿島建設) 幹事：犬伏徹志 (近畿大学)、鈴木庸介 (竹中工務店) 委員：高山峯夫 (福岡大学)、菊地 優 (北海道大学)、小林正人 (明治大学)、井澤保一 (日本設計)、中西規夫 (日建設計)、三輪田吾郎 (大林組)、福喜多輝 (清水建設)、荻野伸行 (熊谷組)、藤山淳司 (大成建設)、加藤秀章 (ブリヂストン)、木本幸一郎 (エス・エー・アイ構造設計)、平木隆文 (中部電力)	
設置 WG (WG 名：目的)	免震技術課題抽出 WG：前 WG (免震技術検討 WG) にて収集した技術情報を分析し、今後の技術開発の課題を抽出する。なお、基本的に前 WG から委員継続とする。前 WG、新設 WG にて検討した内容については、まとめて直上の免震構造小委員会 (設置期間 4 年) のシンポジウムで WG での検討結果を公表する。	
2023 年度予算	210,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：—

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会では委員間での情報共有、免震構造の普及、社会的背景を考慮して設定した検討テーマについての議論を行った。 2. 傘下の免震技術課題抽出 WG での検討内容を小委員会で共有し議論を実施した。また、小委員会・WG 委員が参加する拡大小委員会を開催し、今後の免震技術の開発に関しての課題について情報共有がなされ議論の端緒となっている。

<p>委員会活動の問題点 ・課題</p>	<ol style="list-style-type: none">1. 今年度は小委員会内で3つの検討テーマを設定し、小委員会以外の専門家からの意見を聴取しながら検討を進めた。情報収集の必要性のウェイトが高かった。2. 会議形態がWEB会議から会議室+WEBのハイブリッド開催に移行しており、委員の参加形態の違いによるよりよい議論方法を試行していく必要がある。
--------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------